



# 志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校  
平成29年度学校だより  
第7号  
平成29年10月2日発行



## 充実の秋！仲間とともに自分を磨こう



仲よし広場では、サルスベリの花に代わり、キンモクセイがさわやかな香りを放っています。志楽川沿いでは彼岸花が満開で、4年生の国語科で学習する「ごんぎつね」の一節が思い出されます。秋の風物詩コスモスは、今年は芽が出た頃にアクシデントがあり、一部で咲いているだけになってしまいました。申し訳ありません。

実りの秋にふさわしく、農園クラブの方々のご指導で育てた**作物を収穫**させていただきました。5年生の**カボチャ**はたいへん甘く豊作で、給食にも出していただきました。このあと、2年生の**サツマイモ**、3年生の**ヤーコン**、4年生の**ヘチマ**、こすもす学級のもち米の収穫が楽しみです。

2学期は、たくさんの行事がある中、それに向けて子どもたちもそれぞれが努力をして力をつけたり、協力して心をつないだりする充実した日々を送っています。5年生の**野外活動**では、協力を通してさらに高学年としての自覚を高めました。27日には**後期児童会の認証式と引き継ぎ式**があり、児童会を牽引する6年生の立派な着任、退任の挨拶がありました。全校児童も目的意識を持って静かに集まり、じっくりとスピーチに耳を傾けることができました。2年生は**乗り物探検**を通してものを見る目が広がったり、深まったりしたようです。22日の**祖父母参観**には、たくさんの皆さんにお越しいただき、子どもたちが温かく応援していただいていることを実感しました。10月1日(日)には**志楽地域敬老会**に参加させていただきました。敬老会へ向けては、志楽地域の960名近いお年寄りに、心を込めてお祝いメッセージを書かせていただく機会をいただきました。いつも応援ありがとうございます。いつまでもお元気でお過ごしいただきたいです。見守りの環境の中で、今後も1年生はタンポポハウス・志楽幼稚園との交流、3年生は社会見学、6年生は舞鶴市合同音楽会・・・、全校的には作品展と、一つ一つの行事の過程を通して、さらに個々の力や仲間と協力する力を高めていきたいと考えています。

さて、10月8日(日)には**運動会**を開催いたします。行事を通して、協力する態度や挑戦する気持ちを子どもたちの中に育てていきます。また、練習にも一人一人が自分の目標を持ち、振り返りながら自分の学習を見直し、成長を感じられる取組となるよう工夫をしています。そしてそれぞれの学年に応じた児童の成長を見ていただく機会となるよう練習に励んでいます。PTAの皆さんのお力もお借りします。当日は、どうぞ皆様のご声援をお願いします。

見守りの厚いこの志楽の地で、子どもたちが毎日元気に学校に通い、「**自分の可能性を切り拓く力**」を高めることができるよう、今後も職員が一丸となって関わっていきます。どうぞ、今後とも引き続き地域の皆様の温かな見守りをよろしく願いいたします。

校長 村川 広美  
教職員 一同



### 日々新たに・・・

☆

人間は、努力することで成長できるか？

この夏休みの作品の中に、ある挑戦の記録がありました。それは、「努力は人を裏切らない」と私が言っていたので、私の言っていることが本当かどうか、四年生の児童が実験・検証をしたというものでした。この夏の挑戦です。サッカーのリフティングの目標回数を二百回と決め、毎日練習をして記録していくというものでした。はじめは、五十七回からスタートし、二十日間でなんと百七十八回まで記録を伸ばしました。人の話をしっかり受け止めて、自分で考え、自分が好きなことで、うまくなりたいとチャレンジした記録。しかし、その子は夏休み明けに「校長先生、こんなことやってみました！」とアピールすることなく、いつもと変わらぬ姿でいたこと・・・その地道に努力する姿に、心をうたれました。あるテレビ番組で幼少期に付けるべき大事なことは、「自分の自信だ」と言っていました。どの子にもその子の光があります。一人一人の光を認め、「自信」につながる言葉がけができる大人でありたいと思わず襟を正す素敵な子どもの姿でした。

☆

書物から生き方や感性を磨く

九月十一日、学校で「ブックバザール」に取り組み、秋の読書週間をスタートしました。本の題名から児童が行きたい教室を選んで、お話を聞きに行くというものです。「怖い話」が人気だったようですが、自分で本を選ぶところがこの取組のよさです。学年関係なく、そのお話に惹かれてやってきた子どもたち。それをきっかけに子どもとの距離が縮まり親しくなれて嬉しいものです。子どもたちには本との出会いのきっかけを多く作り、一冊でも多くの本と出会って生き方や感性を磨いてほしいと願っています。秋の夜長、おうちの方の温かい声で本の世界にいざなってもらいましょう。

